

あなたもお読みください
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん 赤旗

日刊 1カ月 3,497円
日曜版1カ月 823円

手良民報

生活相談はお気軽に
電話 78-0943 (高橋)
08051428896 (大場美広)

〈毎月赤旗読者に配達〉

〈民報のみは月100円〉

発行

日本共産党・手良支部

3割の人が出席して

手良地区敬老会

手良地区の敬老会は野口地区
が一足早く9月21日に行い
ました。その他は9月22日
に行われました。

今年も手良太鼓の小学生の
皆さんが全地区を廻り元気な
太鼓の響きにお年寄りを力づ
けました。

生の経験を今後も生かしてほ
しい。「戦中戦後の激動の中
地域のために尽くしていただ
き感謝」などのあいさつがあ
り、小学生6名によりお爺さ
んお婆さんに対する感謝の作
文の朗読がありました。

出席者は野口では75歳以
上の対象者156名のうち出
席者は50名(約32%)、

高齡社会となり市内の最高
齢者は高遠町の女性で108
歳、男性は西春近の105歳。

また、中坪の歩み研究委員
会制作のパソコン紙芝居「む
らのむかし」の上映、八木節
カラオケクラブの唄などあり
和やかに歓談しました。

中坪は126名のうち43名
(32%)、下手良は83名
(32%)、下手良は83名

今年度中に100歳を迎える
のは20人(男性6人、女性
14人)。手良では8月に
100歳を迎えた下手良の宮
原きくゑさんを市長が敬老訪
問しています。

中坪の敬老会では「長い人
きたわけですが、この50年
ではたして「人は幸せになっ
てきたのだろうか?」という
ことです。

のうち27名(32%)、八
ッ手は75名のうち24名
(32%)、全体では440
名のうち144名(32%)
でした。

中坪の敬老会では「長い人
きたわけですが、この50年
ではたして「人は幸せになっ
てきたのだろうか?」という
ことです。

減ってしまいました。
安い牛肉を食べられると言っ
ても一時的なもので、国内生
産者がいなくなり食料自給率
が下がってしまえば、少しく
も価格を吊り上げ利益を増や
そうとするのは誰でも考える
ことです。

先日、近所で八十八歳のお
爺さんが亡くなりました。
お見送りに集まった人々を
前にお礼の挨拶をされた息子
さんが「父は子どもの頃から
真空管のラジオを組立てるの
が好きで、それが高じ自分が
生まれ育ったこのむらで電器
店を始めました」と話され
ました。

話には飛躍しますが、四年半
前に起きてしまった東日本大
震災の後、「今までの生き方
を見直そう」と言われ始めま
した。粗悪な安物をどんどん
作って、使うとすぐ壊れ、捨
てる。あとにはゴミの山。
人でずら派遣、派遣で物の
様に使い捨て。「こんなこと
はもう止めようよ。地球がも
たないよ。人が幸せに生きら
れないよ」と気付き始めた
ところだ。

しかも、賃金の安い発展途
上国で大量に生産し、輸出を
手掛け莫大な利益を企むのは
米日の商社など多国籍企業な
のですからたまりません。
このTPP推進だけではな
く、戦争法の強行、原発再稼
働、沖縄新基地建設強行、消
費税値上げと年金切り下げな
ど福祉切り捨てなど、どこを
取っても国民を幸せにしてく
れそうもない政治を一刻も早
く変えたいものです。
日本共産党
安心・安まらちづくり責任者

よしの通信

20

人の幸せとは?

話には飛躍しますが、四年半
前に起きてしまった東日本大
震災の後、「今までの生き方
を見直そう」と言われ始めま
した。粗悪な安物をどんどん
作って、使うとすぐ壊れ、捨
てる。あとにはゴミの山。
人でずら派遣、派遣で物の
様に使い捨て。「こんなこと
はもう止めようよ。地球がも
たないよ。人が幸せに生きら
れないよ」と気付き始めた
ところだ。

減ってしまいました。
安い牛肉を食べられると言っ
ても一時的なもので、国内生
産者がいなくなり食料自給率
が下がってしまえば、少しく
も価格を吊り上げ利益を増や
そうとするのは誰でも考える
ことです。

今、ラジオの組立てが得意
な子どもがいたとしても、大
きくなって電器屋さんに成
うと思ったり、実際に成れた
りするだろうか?..
言うまでもなく、今はIC
の時代。ラジオに限らず電
機器の裏ぶたを開けても何
がどうなっているのか原理も
わかりません。
私が思ったのは、そういう
技術進歩のことではなく、も
ちろんそれも在って変化して

1964年に木材の関税が
撤廃され日本の林業は壊滅し
木材自給率は今や4分の1に



美広

大場



感謝の作文朗読

員に寄贈したいなどで運営上
厳しくなったようでした。

今年の秋祭りは

中坪では秋祭りの前夜の
10月3日夜、中坪公民館で
第15回演芸大会を実行委員
会主催で行い、子どもからお
年寄りまで多くの皆さんの参
加がありました。
演芸は保育園児の「恋のダ
イヤル6700」で元気に幕
を開け、小学生も「GUTS!
手良っこ!」を踊りました。
また、子ども達の楽器演奏・
歌、ベテランの踊りや唄があ
りました。



中坪演芸大会

で合唱し地域のつながりを深
めました。

八ッ手では

10月4日
に公民館主催、区が共催で恒
例の神輿が区内を廻りました。
出発式では手良太鼓22名
による「山呼」「巴」「夏祭
り」の組太鼓の勇壮な響きに
送りだされました。
神輿は重いので台車に載せ
て「せんやせんや」の掛け声
で回り「五穀豊穣」「家内安
全」を願います。
各戸ではご祝儀を「ご苦労
様」と用意した箱に入れてく
れますが、強制にならないよ
うに袋へは名前を書かないよ
うになっています。



八ッ手の神輿

スライド「歩いてきた道の
思い出」「俳句・四季に詠う」
もきれいに上映され、中坪の
郷土の伝統芸能「八木節」は、
おおとりを賑やかに飾りまし
た。
最後に「ふるさと」を全員

手良の チョウゲンボウの短歌

毎年3月頃チョウゲンボウが
手良にやって来て小学校の校舎
の裏側の換気口の穴で雛をかえ
す。またどこかへ帰っていきま
す。
9月26日に塩尻で行われた
第29回全国短歌フォーラムに
n塩尻で次の短歌が入選になり
ました。



チョウゲンボウの換気口

「長元坊今年も来たりて小学
校の換気口より雛顔見せる
高橋 忠」

今年も秋祭には中坪では演芸
大会が開催され、八ッ手では
神輿が区内を廻った▼中坪の
演芸大会は平成13年8月に
「秋祭りの演芸大会復活を」
と賛同者を募り14名の区民
の賛同を得て、12名の実行
委員によりその年の秋祭りか
ら始まったので今年で15回
目となる▼八ッ手の神輿は
昭和56年に樽神輿を作り、
今の本格的な神輿は平成11
年からである▼中坪の場合、
今まで継続できたのは区民の
協力と実行委員の努力があっ
て、頑張つて継続する中で色々
の知恵も出された▼保育園や
小学校の運動会に行なった夕
ノスを演芸大会の舞台で上演
したのもその一つであった。
子どもたちも故郷の演芸大会
の思い出を持つことが出来る
し、子どもたちの上演は会場
を元気に明るくするし、なに
よりもお年寄りをはじめ参加
者が元気になれる。そして父
母や保護者のみなさんが付き
添いで参加してくれ、大勢と
なり賑やかにしてくれる▼続
ける中で中坪の郷土芸能であ
る「八木節」は八木節保存会
の皆さんの努力もあり後継者
も出来て進化をしている。8
0歳以上のお年寄りの「歩い
てきた道の思い出」のスライ
ドも担当者の苦労により続け
られ、お年寄りの皆さんを中
心に喜ばれている▼八ッ手の
神輿も時代の変遷により変わ
ってきて、重いので現在は台車
に載せて引いている▼ともあ
れ高齡化社会を迎え地域の絆
作りがいっそう大事になる。
色々と困難もあるだろうが両
地区とも今後も継続していく
ことを期待したい。
(T)

満蒙開拓団を考える ②

満州事変と満州国の成立

既に日露戦争（1904～1905、明治37～38）の後、日本は欧米列強に続く帝国主義国として朝鮮の植民地化（1910、明治43）を進め、南満州鉄道（満鉄）とそれに付随する利権（鉱山など）を獲得しました。

しかし、満州全体への支配はなかなか進まず、ロシア革命後のソ連成立の影響が及ぶと満州は「共産化」の危険もあり得る情勢に、軍部特に満州に駐屯していた関東軍は焦ってなんとか事態の打開を図ろうとしていました。

1931年（昭和6）9月18日、奉天（現在の瀋陽）近くの柳条湖（りゅうじょうこ）で満鉄の線路が何者かによって爆破され、関東軍はこれを中国軍のしわざとして戦闘を開始し、ついに満州全体

を占領するに至りました。これが満州事変です。

この真相は、戦後明らかにになりましたが、実は関東軍の参謀であった板垣征四郎（せいしろう）や石原莞爾（かんじ）らが計画した謀略（人をあざむくはかりごと）でした。爆破されたと言っても、その後後に列車は何事もなく通過していったから、要するに戦端をひらく口実を作ったわけです。

この満州事変こそ、以後15年に渡って続く中国との戦争（15年戦争）の発端でした。翌1932年には満州国の成立を宣言。清朝最後の皇帝であった溥儀（ふぎ）を皇帝としましたが、実態は日本及び関東軍が支配する傀儡（かいらい・あやつり人形）国家でした。こうして朝鮮のように直接植民地という形は取らず、しかし実質的には植民地支配を行いました。

講習会の後は昼食

高齢者交通安全講習会

手良地区高齢者交通安全講習会が9月27日に手良中央公民館で行われ高齢者約50名が参加しました。

後藤一男長野県地域交通安全活動推進委員より会長の代理で「年を取ると思うように体が動かず高齢者の交通事故が多い。このような集会に出ることが大事であるので実のある勉強会に」とあいさつがありました。

また、宮原弘文手良地区高齢者クラブ会長代理よりは講習会開催についての感謝と「子どもと高齢者の交通事故防止のためにシートベルトをつける、道路へ出るときには左右をよく見てなどをよく守って。今日の講習会を有意義なものにし、これからの余生を楽しく過ごせるように」とあいさつがありました。

講習会では向田未来伊那警察署巡查長（手良受け持ち警察官）が講師で、問題を出しその回答について〇×で各人が表示をする方法で楽しく行われ、信号機の赤は何番目、赤信号の点滅の時はどうしなればならないか、車が左・右折するときには何メートル先から方向指示器を出さなければならぬかなどを勉強しました。



高齢者交通安全講習会

講習会後の昼食会では交通安全協会提供の弁当を食べ、懇談を

秋まつりに24句

井上井月を偲ぶ句会

手良公民館と「井上井月を偲ぶ句会」が共催で秋まつりに向けて俳句を募集し手良全域より24句が集まりました。提出された俳句は羽場先生により一句一句丁寧に添削され各人に返されます。

俳句は大きな箱灯籠へ掲示し3・4日の秋まつりの夜、中坪八幡社の境内へ設置し祭の雰囲気を感じ上げました。

現在は手良公民館の玄関前に設置されています。また、長野日報の文芸欄へ掲載されます。

投げされたうちよりの子供等に引き継がれたる阿波踊り 赤羽芳一

秋祭鮎甘からく煮付けたり 荒井圭子

子と蜻蛉（とんぼ）一直線にとびぬける 菅野明子

経ヶ岳へ登山

里山へ登る会

「手良里山に登る会」（城倉宏会長・会員33名）は10月17日に経ヶ岳の7合目（1917・8m）まで登山しました。

参加者は子ども2人を含めて25名が7台の車に分乗し

中坪公民館で絵手紙教室やっています



酒井要子

連絡先 高橋 7810943

このコースは春にトレイルランニング（陸上競技の中長距離走の一種で、舗装路以外の山野を走る）が行われ、毎年南箕輪中学が強歩大会を行っています。



経ヶ岳登山

手良からよく見える山ですが、最初は林道を歩くので早足になります。山道に入ると傾斜が急になり苦しくなります。帰りはいっそう難儀で足を痛めた人もおりました。南箕輪中学の生徒が強歩大会をやっているのが信じられないくらいいきつい山行でした。

俳句 里は秋 山岸アイ子

空に市の歌流れ里は秋 澄み渡り虫の音あまた夜もすがら 葉隠れの柿もようやく色つきぬ そよ風が栗の香運ぶ梅雨晴間 花散りて芽吹きさの堂は静かなり



健康チェック進める 医療生協手良支部

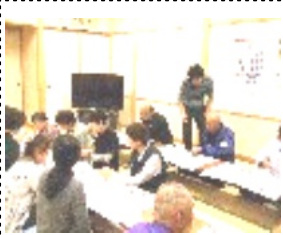
上伊那医療生協手良支部では地域の皆さんの健康のために役立てればと組合員や地域の皆さんに呼びかけて健康チェックを行っています。

上伊那医療生協の職員と組合員がボランティアで支援し、血圧測定、BBC（内脂肪など）による検査、骨密度検査、尿チエックなどを行います。希望者には入浴がんの便チエックも行います。

今は何処の医療機関でも検査をやっていますが尿チエックによる塩分検査は医療生協独特のものでほかの医療機関では行っていません。他に軽い体操や認知症予防の脳いきいき体操、またその時々健康講話も行い、お茶を飲みながら皆で気楽に懇談します。

3人以上集まったらやろうということになり9月30日は堀之内集会所で6名、10月13日は中坪公民館で8名、10月16日には野口公民館で14名、10月21日は郷之坪常会で5名が参加して行われました。

今後は10月28日に八ツ手公民館、10月31日はJA手良支所等の街角健康チェックを予定しています。手良支部では気楽に参加と呼びかけています。



野口公民館で健康チェック

（おねがい）身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。 七八一〇九四三 高橋

生活雑記

139

較差社会を感じた時

小松利江

それは、まれに見る大豊作と毎日のように伝えている松茸のニュースにつられていそいそと出掛けた。

店の庭先までフンポンと香

おお客様は人垣でじっくり品定めなどできないので、恐る恐る前の人の肩の間から爪先立ちで覗くようにして立ち尽くしていた。

一年一度の贅沢もままならない人間と、何十万円もの松茸を心ゆくまで堪能できる暮らし、今日は豊作という現象の裏と表を一瞬に見たような一日だった。

葉がどうやら他県の人らしく、分厚い万札を手にして何十万円もの松茸を買い取って意気揚々と帰っていった。

一度の松茸御飯を食べたいと出掛けたのに夢は東の間に消えてしまった。

ああこれが格差社会かもね。帰りの車の中でさっきのお客様のご満悦の顔が何時までも浮かんで考えさせられた。

